



新嘉坡植物園

此夜日本料理屋に入りて、日本式の湯に浴し、浴衣を着て、日本女の給仕で、日本料理を食つた時は、我等にはモウいよ／＼日本が近くなつた。しかし其のマレイ街に六七百の日本醜業婦——天草あたりの石炭擔ぎ上りの十人並はづれた、孰れの御面相も人三化七の美人か、浴衣を着て、ゾラリ店を張つてゐるのには、心あるもの誰か眉を蹙めずしてあるべき？ しかし伯林の女郎ですら日本赤十字社員であり、倫敦の女郎ですら、日本の軍事公債を買つたと云ふ世の中に、ましてや此等の出稼醜業婦だとて、擬ひも無い日本人である、我等が同胞である、又た戰勝國の民であるから、本能的に愛國心もある。それで軍費も寄附すれば、愛國婦人會員も多いのであつて、而して悲しむべし、我が國旗

實や茄子や薯に鯉節を入れて煮て、右の手掴みて食つてゐるけれど、相當に教育もあり、英語で能く話の出来る青年も交つてゐた。彼等は日本人に言葉を掛けられるのが嬉しうて、御馳走をしやうかなど云ふものもあつた。一人の青年が頻りと一冊の小本を讀んでゐた、其中には我が天皇陛下や大山元帥、東郷大將、又た日本風俗などの木版畫が挿入してある。何の書物かと尋ねたら、タミール方言對譯の日本語讀本であつた。更に一週日新嘉坡へ着くと、玩具のやうな危かしいカノヲを巧みに操つた裸體の子供が、鏡をくれよと求める。鏡を海中に投ずれば、子供等は舟を棄て櫂を投じて、水中に跳り潜り込んで、其の鏡を拾ふ。甲板にはリース賣、繪葉書賣り、兩替屋などが五月蠅く入り込むのは、コロンボも何處も同じ未開地の港に常なる状態だ。馬車を植物園に驅りて、大隈伯爵や新宿御苑の温室でばかり見てゐた、熱帯植物が大地に繁茂し、椰子の幹には、貴き蘭が纏つて、薄紫や眞白の花を開いてゐた。路傍日盛りの芭蕉の葉蔭には、支那苦力が人力車——彼等の稱する東洋車を置いて客待ちをしてゐる。此車に乗らうものなら、苦力は只だ一目散に當途も無く走る、客は車上で四肢を踏んで、右！ 左！ と指さねば、遂に何處まで往くか分らぬ滑稽な車だ。

の到る處、其の未だ到らざる處に、我が國辱を洒しつゝあるのだ！

更に又た一週間、船は益々東方に進んで、香港へ入つた。コロンボは印度の地、新嘉坡は馬來人の地、而して此の香港は支那人の地、而して三者共に英國主權の下に在る。併し支那人と云ふ奴は豪いものだ。英國人をして、この崎嶇たる島嶼の間に東洋屈指の港を築かせ、由來瘴癘の毒氣多かりし地を化して、健全なる都會を成さしめておいて、而して此地の商權を我が掌中に收めつゝあるのだ。

正金支店長高道氏の好意により、日本食の饗應にも預かれれば、市街の見物もした。市外の大競馬場は流石に西洋人の設備で、支那人はイクラ金を儲けても、コンナ處には落さ無い。瘴癘の禍源なりし澤地を除水乾燥せしめた處、昨は災の谷、今は「幸福の谷」であるが、併し異域萬里に骨を埋むる不幸なる外國人の墓地である。予等は此谷なる我が同胞數人の墓に詣て、窃かに愁嗟の情を催した。

船が香港を出ると、今度は神戸だぞ！ モウ一週間だ。豫定は大晦日入港の筈であるが、日本人たるもの、誰しも一日半日の早きを希はざるは無い。それに御正月だ！ 船員も此度の航海に國を去つてより既に六ヶ月、まして海上の生活では、家族と共に正月を祝ふことが稀れだ

から、今度の機會を外したく無いのは當然だ。船客よりも船員の方が歸心矢の如しだ。甲板では船脚の速かれかしと祈る、機關室では火夫が「焚け！ 焚け！」と石炭を放り込む。臺灣海峡の波も常に無く静かだ、あれが琉球諸島だぞ！ ヤア櫻島の煙が見えるぞ！ モウ日本に歸つたぞと喜ぶ。しかし香港を出た翌日から、既に膨脹したる日本の領海に入つてゐたのだが、こゝは薩摩沖だ！ モウ土佐沖だ！ との聲が掛らぬと、眞に日本に歸つたやうな心地がし無かつた。これは英國人が日没すること無き領土の大を誇りながら、尙ほドーヴァーの白聖崖頭に憧れるやうなものだ！

懐郷の念と、國て正月との情とは、遂に脚の速くも無い讃岐丸をも驅り立て追ひ立て、予等は豫定に先だつこと一日、三十日の午後には神戸へ着くと、孰れも顔の異つた子供が、本間船長を取圍んで「お父さん！」と云つたのは美しい事だ。予は即夜東海道を上り、今は珍らしき思ひの富士の白雪を仰ぎつゝ、大晦日の夕方新橋へ着くと、小兒等が迎へに來てゐた。七ヶ月の間に、見違へたやうに大きくなつてゐた、そしてはにかんでゐた。

明治四十二年十一月廿五日印刷
明治四十二年十二月一日發行

歐洲見物

定價壹圓七拾錢



著者	櫻井彦一郎	東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目三番地
發行者	土屋泰次郎	東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地
印刷者	青木弘	東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地
印刷所	株式會社 秀英舎 第一工場	東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

發行所

東京市麴町區五番町十六番地

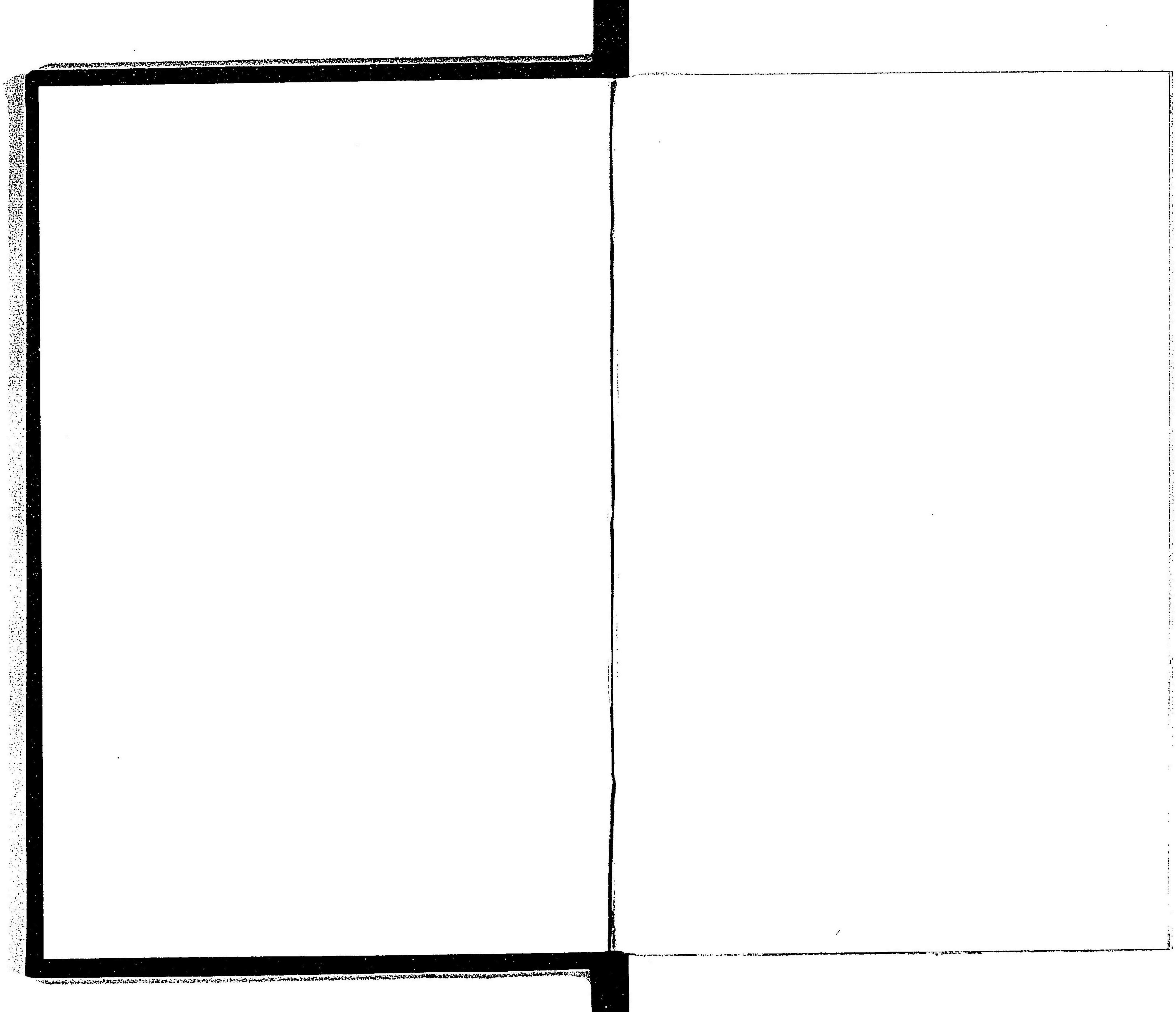
丁未出版社

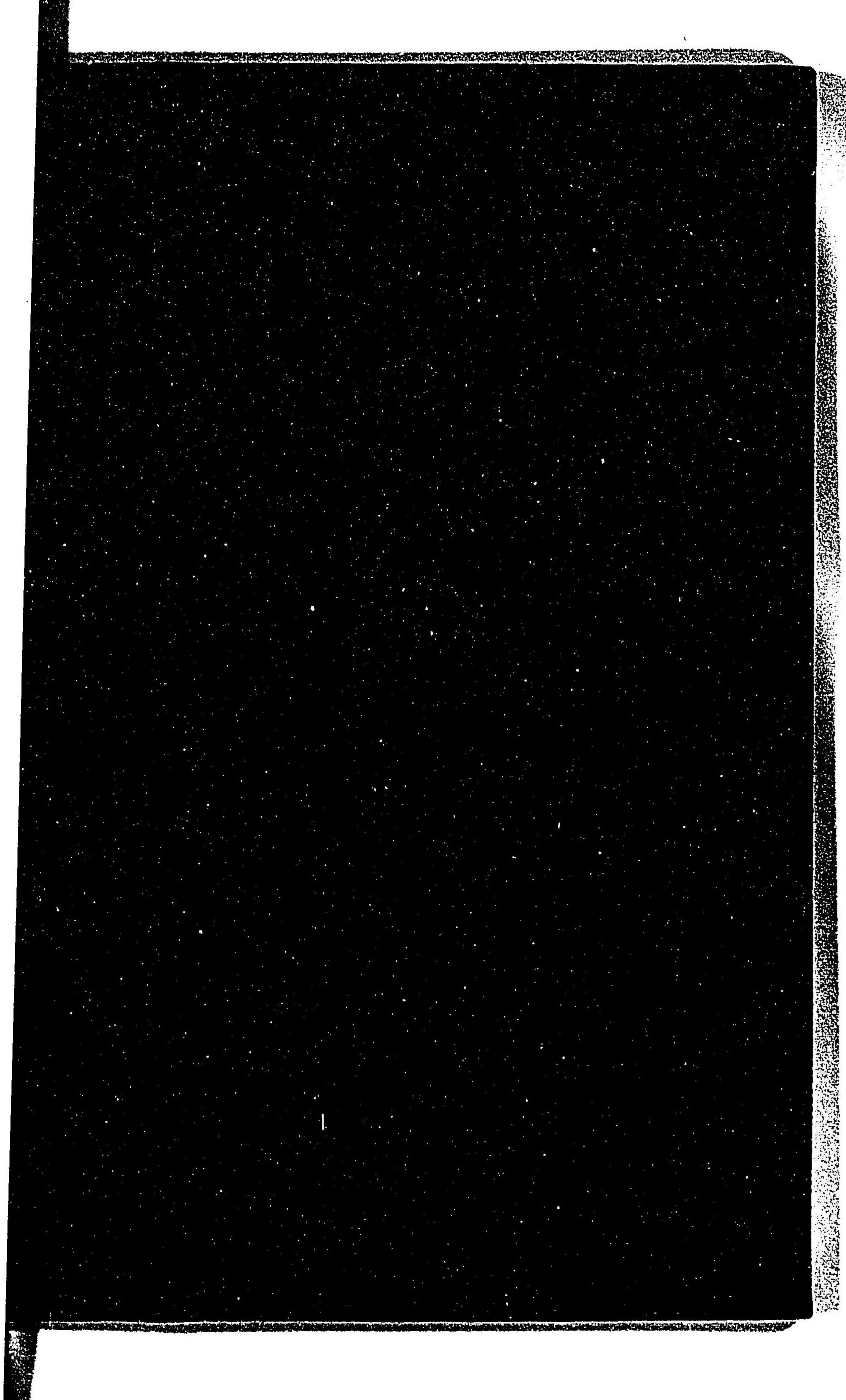
電話番町一九九五
振替貯金口座東京七八四七

21209

丁未出版社發兌

文英 隨 想 錄	隨 想 錄	文邦 武 士 道	文英 武 士 道	文英 肉 彈	肉 彈
新渡戶博士著	新渡戶博士著	櫻井鷗村譯	新渡戶博士著	本田增次郎譯	櫻井大尉著
	郵定 稅價 金八 壹圓	郵定 稅價 金八 壹圓	郵定 稅價 金八 壹圓	郵定 稅價 金八 壹圓	郵定 稅價 金七 拾錢
(近 刊)	(第 九 版)	(第 八 版)	(第 十 六 版)	(第 六 版)	(第 七 十 版)





328
111

(M)

026829-000-4

328-111

欧洲見物

桜井 欧村/著

M42

ADF-0008



